

# 人道支援で朝鮮と日本の平和な関係の構築を

日時 2013年4月20日(土) 13:30~16:00

場所 東成区民センター 集会室701

大阪市東成区大今里西 3-2-17  
電話：06-6972-0717

地下鉄千日前線・今里筋線「今里」下車 2番出口から西へ徒歩約3分

○参加費(資料代) 500円

## 1. ビデオによる訪朝報告 報告者 ハンクネット世話人 竹本 昇



江原道育児院(元山市)の幼児たち

昨年11月の訪朝で、平壤市と元山市の育児院を訪れ、母親が病気に罹ったり死亡したりして、母乳が与えられない乳児には、相変わらず、粉ミルクが不足している現状をみてきました。

日本政府とマスコミは、朝鮮の人工衛星打ち上げと核実験を理由に、朝鮮に対する恐怖と敵愾心を煽り、制裁措置を強化しようしていますが、制裁措置では、問題の解決にはなりません。対話による平和外交により、東アジアはもと

より、世界の国の全ての核をなくすこと以外には、核廃絶の途はないと思います。

政府やマスコミの一方的なネガティブキャンペーンに惑わされることなく、私たちが見てきた朝鮮の姿を報告して、人道支援を通じて、朝鮮と日本との間に平和で友好的な関係を築いていきたいと思ひます。

## 2. 日本政府は、なぜ朝鮮総聯を弾圧するのか

報告者 在日本朝鮮人総聯合会大阪府本部 朴榮致さん

日本政府は、朝鮮学校が、朝鮮総聯と関わりがあるという理由で、高校無償化適用規定を改悪までして高校無償化から排除しました。そもそも、朝鮮学校が総聯と密接な関係があっても、日本政府や自治体が、それを、とやかくいうべき筋合いのものではありません。在日朝鮮人の権利擁護のために闘い、民族教育を育ててきた朝鮮総聯の存在は、否定されるべきものではありません。

日本政府は、朝鮮にたいして、植民地支配の反省と謝罪と賠償もせず、平和で友好的な関係を築こうともしていません。その日本政府の朝鮮総聯に対する弾圧策動は、私たち自身を、民族差別者・民族排外者の立場に立たそうとするものです。このとき、日本と朝鮮との友好関係の確立に取り組まれながらも不当な弾圧を受けている朝鮮総聯の当事者から、日本政府の弾圧の実態の報告をうけて、弾圧の策動の本質を学び、日本社会の朝鮮に対する差別と排外に抗していきたいと思ひます。



「朝鮮学校はずしにNo!」集会とパレード  
2013年3月31日、多くの人が日比谷公会堂に集まりました。

主催 朝鮮人道支援ネットワーク・ジャパン (略称:ハンクネット)

連絡先 090-8860-9961 (竹本 昇) ホームページ: <http://www.hanknet-japan.org/>